

第2028回埼玉県教育委員会定例会議事録

- 1 日 時 令和8年4月21日(火) 午前10時開会
午前10時43分終了
- 2 場 所 埼玉県教育局教育委員会室
- 3 出席者 石川教育長、櫻井教育長職務代理者、今井委員、神山委員、小野委員、鈴木委員、佐藤副教育長、案浦参事、小谷野教育総務部長、田中県立学校部長、岡島市町村支援部長、平野教育総務部副部長、森県立学校部参事兼高校教育指導課長、小島高校教育指導課主幹兼主任指導主事、山口文化財・博物館課長、阿部市町村支援部参事兼小中学校人事課長
廣川書記長、高久書記、宮書記、荻野書記、齊藤書記、北澤書記
- 4 会議の主宰者 石川教育長
- 5 会 議
- (1) 前回議事録の承認
- 全出席委員異議なく本件記載どおり承認
 - 石川教育長が、鈴木委員を議事録の署名者に指名した。
 - 会議を公開しないこととする事項について
石川教育長が、第51号議案から第53号議案までの審議について、会議を公開しないこととする動議を提出
全出席委員がこの動議に賛成し、当該事項について会議を公開しないことに決定
 - 日程の変更について
石川教育長が、日程を変更し、会議を公開しないこととした事項以外の日程について先に行うこととする動議を提出
全出席委員がこの動議に賛成し、日程を変更することを決定

(2) 報告事項

令和8年度埼玉県公立高等学校入学者選抜実施状況について

森県立学校部参事兼高校教育指導課長（提出理由、全日制の課程及び定時制の課程並びに学力検査の結果について説明）

櫻井委員 全日制の課程の一般募集について、受検者の総数が2,577人減少したという報告がありましたが、単なる人口減で子供たちの数が減ったのかそれとも何か要因があったのかというところはどのように分析されているのでしょうか。

森県立学校部参事兼高校教育指導課長 2,577人減少した要因については、一つには、いわゆる少子化で中学校の卒業者が減少したということもございしますが、それだけではなく、私立も含めた高等学校の無償化の影響もあると考えております。その他、総合的に様々な原因が複合的に影響して減少したと考えております。現在こちらにつきましては、分析、研究中でございます。

櫻井委員 募集人員を充足しない学校数が最終的に65校という報告でしたが、これは地域によって多少違うのか、傾向が分かれば教えてください。

森県立学校部参事兼高校教育指導課長 募集人員を最終的に充足していない学校ですが、やはり地域的な傾向はございます。生徒の数が大変少なく、例年充足しない地域もございまして、比較的倍率がある地域もございまして、そこは地域の特性はあると考えております。

小野委員 欠員補充後の募集人員を充足しない学校数が、今年度は65校、昨年度は47校ということで、今、地域差があるというお話でしたが、昨年度の47校と今年度の65校は重複しているのでしょうか。要するに減だったところが充足する、逆転現象という言い方は適切でないかもしれませんが、そういったこともあるのか。あるいは、残念ながら重なってしまって、例年充足しない形で推移しているのか。分かる範囲で教えていただければと思います。

小島高校教育指導課主幹兼主任指導主事 多くの学校は重複をしております。新たに定員を満たさない学校が増えたということです。

小野委員 もう少し深くお伺いしたいのですが、先ほど地域特性というお話があり

ましたが、地域の中での特性というか、悪化しているであるとか、子供の数が少なくなっているのか、定員割れしているのか、必ずしもそうではないのか。すぐにはもしかしたらお答えいただけないかもしれませんが、傾向として分かることがあれば教えてください。

小島高校教育指導課主幹兼主任指導主事 私学の無償化の影響も含めて分析を進めているところです。地域特性の部分も含めてでございますが、学科別にどうであったかなど、幅広く分析を進めてまいりたいと思っており、次年度の生徒募集PR活動等を積極的に進められるよう、改善に生かしていければと考えております。

今井委員 私立高等学校の無償化の影響だと思いますが、今年入学した1年生が、なぜその学校を選んだのかということが、これからの魅力発信のヒントになると思うので、学校ごとにその魅力を十分に理解して、来年度の入学生に向けて、是非、情報発信をしていただきたいと思います。やっぱり公立高校が良かったと思ってもらえるような結果になるように、是非、情報発信をお願いいたします。

森県立学校部参事兼高校教育指導課長 今おっしゃっていただいたとおり、今年、このような状況で県立高校に入学してくれた生徒たちの意見等をよく聞きまして、学校の魅力化、特色化につなげてまいりたいと思います。

神山委員 2点申し上げます。1点目は倍率が下がった、受検者が減ったという点については、今後分析を進めていただければと思いますが、子供の観点から見ると、希望の学校に入れたという利点もあると思います。ただ、そうなると入った後、しっかり学びきれぬかという次の問題が出てくると感じております。最近ですと転学等が簡単にできる時代ですので、中途退学の方が増えているとお聞きしていますが、希望の学校に入れたならば、最後まで学びきれぬような体制作りというところに視点を置いて、今後子供たちの状況をしっかり把握していく必要があると思います。もう1点に関しては、やはり私学無償化の影響ということで、今後、受検時期が影響してくると感じております。公立学校を頑張りたいというお子さんたちが、受検時期に私立も公立も受けるとなると、3か月くらい受検を乗り越えていかなければならない中で、公立に行きたかったけれども、受検時期

やご自身のメンタルヘルスの状況など様々なことで、先に決まった私学という方が、見ていると、多いかどうかは分かりませんが、一定の割合でいらっしゃると思っています。受検時期や選択する時期を少し調整していくことを、今後考えられたらよろしいかと感じました。

森県立学校部参事兼高校教育指導課長 1点目の、希望の高校に入った生徒たちが最後まで学びきれるようにということにつきましては、本当におっしゃるとおりでございます。この入った生徒たちが、学力を伸ばして、しっかりその学校で進級、卒業していけるように、最後まで、しっかり指導支援していくように学校を支援してまいります。続きまして2点目、受検時期につきましては、私立高校を受検する生徒、公立高校を受検する生徒、そういった生徒の負担もあろうかと思えます。また、それと併せまして、3学期の中学校の授業時間数をどのように確保するかという問題もございます。そういったところのバランス等も考慮いたしまして、また、引き続き生徒の負担についても研究をいたしまして、最適な時期を探っていきたいと存じます。

鈴木委員 私学の無償化があつて受検者が減ったということですが、原因がどこにあるのか突き止めてもらうことが重要だと思います。受検したお子さんたちに、なぜその県立高校を選んだのか、私学はどういった魅力があるのか、そういったヒアリング調査はやられているのでしょうか。

森県立学校部参事兼高校教育指導課長 県立高校に入学した生徒が、なぜ県立高校を選んでくれたのかということにつきましては、これまで各学校で、それぞれ生徒募集の工夫の中で行っておりましたが、今後は県としても、どのような理由で県立高校を選んでくれたのか、そういったアンケートをするなど、入学生の意向を調査してまいりたいと思います。

(3) 次回委員会の開催予定について

5月12日(火)午前10時

<非公開会議結果>

議事

第51号議案 埼玉県文化財保護審議会委員の委嘱について 上程

埼玉県文化財保護審議会条例の規定に基づき、18人の委員を委嘱することを決定しました。

第52号議案 退職手当支払差止め処分について 上程

元公立小学校の男性教諭の退職手当について、支払を差し止める処分を行うことを決定しました。

第53号議案 退職手当支給制限処分について 上程

元公立小学校の女性教諭に対し、一般の退職手当等の全部を支給しないこととする処分を決定しました。